

# 平成26年度 指定管理者評価シート

所 管 課	健康福祉部 障害福祉課
評価対象期間	平成26年4月1日 ~ 平成27年3月31日

## 平成26年度 指定管理者評価シート<1> 指定概要 (指定管理者によりご記入をお願いします。)

施設概要	名 称	川西作業所
	所在地	兵庫県川西市小戸3丁目12番10号
	設置目的	心身障がい者の福祉の向上のため、障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、18歳以上の身体障がい者であって雇用されることが困難なものを通所させて、授産、作業指導、生活指導等を行うことを業務とする。
利 用 料 金 制	非利用料金制 ・ <u>一部利用料金制</u> ・ 完全利用料金制	
指定管理者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所在地	兵庫県川西市火打1丁目1番7号
指定管理業務の内容	<p>指定管理の業務内容を明確に記入してください。</p> <p>(1) 18歳以上の身体障がい者であって雇用されることが困難なものを通所させて、授産、作業指導、生活指導等を行うこと。</p> <p>(2) 施設の利用の承諾、その取消し、その他福祉センターの利用に関すること。</p> <p>(3) 施設の利用料の徴収及び免除に関すること。</p> <p>(4) 施設及び付属設備の維持管理に関すること。</p> <p>(5) 施設の開館時間及び休館日の変更に関すること。</p> <p>(6) そのほか、市長が必要と認める業務に関すること。</p>	
指定期間	平成24年4月1日 ~ 平成29年3月31日	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	健康福祉部 障害福祉課	評価区分	A
区分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価【外部評価者記入欄】	
評価項目及び評価のポイント		評価レベル・評価のポイント		評価レベル・評価のポイント		評価レベル・評価のポイント	
1 施設の設置目的の達成に関する取組み 【有効性】		A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み 【有効性】	
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成		B		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	
事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果が得られているか。		A		A		/	
利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。		B		—			
施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。		B		A			
【 所 見 】		障害福祉サービス事業・就労継続支援B型・定員(35人)として、事業を実施いたしました。障がいの多様性、個性に応じて、個別支援をしていくにあたり、新規作業の開拓や作業の分業化・細分化による作業可能種目の確保に努めています。川西市による通園費の補助について、川西市と利用者間で、代理受領をして利便性を高めています。利用契約数は36人(27年3月31日現在)となっています。		障害福祉サービス事業(就労継続支援B型)を実施した。利用者との個別面談やアンケートを実施し、適切な個別支援計画の作成に努めているほか、新規事業の開拓や作業の分業化・細分化による作業可能種目の確保に努めるなど、個々の利用者に応じたサービス提供を行った。		特になし	
【改善項目】		利用者の重度者や高齢者について、就労継続支援B型の施設としては、対策を講じていますが、心身能力の維持向上が難しい場合も出てきています。					
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況		A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。		A		A		/	
実施された事業への参加者数の増が図られたか。		B		B			
【 所 見 】		26年度事業日数は252日、延利用者は6,739人(前年7,139人)で、利用率は76.4%(予算は75%)でした。毎日通所の方が、コンビニ勤務、倉庫勤務、就労継続支援A型に3人移行されたため延利用者数減となりました。利用率維持のため、感染性胃腸炎やインフルエンザが流行せぬように常に注意を喚起しています。		利用率は予算を上回っているものの、一般就労等による退所者があったことから、延べ利用者数は前年を下回っている。			
【改善項目】				一般就労による退所は望ましいことであるが、事業運営の上では収入の減少となることから、相談支援事業所との緊密な情報交換等により、新規利用者の確保に努められたい。			
(1-3) 利用者の満足度		A		A		(1-3) 利用者の満足度	
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。		A		A		/	
利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたか。		A		A			
利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。		A		A			
その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。		B		A			
【 所 見 】		個人面談の実施、担当者会議への参加、聞き取り調査、アンケート調査などを実施しています。アンケートの結果、施設利用の目的は「社会参加の一環として」「生活リズムの維持向上のため」「日中活動の場として」「多くの工賃を得たい」「就職を希望する第一歩として」などでした。個別支援計画書を作成するにあたり、本人の要望や利用目的を十分に把握し反映させるようにしています。		利用者との個別面談やアンケートを実施し、適切な個別支援計画の作成に努めているほか、職員間の定期的な会議等により、サービスの質の向上に努めている。		利用者一人ひとりの能力や要望に即した支援を行うよう努められたい。	
【改善項目】		単純作業の繰り返しが多く、同じ作業を続けるのはつらいという意見があります。そのような中、一人ひとりの能力や希望にあった作業の種類を確保することがとても難しくなっています。就労継続支援B型の施設は、工賃向上計画を立て提出することが義務付けられています。利用者から少しでも工賃を多くしてほしいという声もあります。工賃向上計画として目標数値を上げますが、結果を伴うのが難しい状況です。					

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	健康福祉部 障害福祉課
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価【外部評価者記入欄】
評価項目及び評価のポイント	評価レベル・評価のポイント		評価レベル・評価のポイント		評価レベル・評価のポイント
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	A		A		2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】
(2-1) 経費の節減	A		A		(2-1) 経費の節減
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みがなされ、その効果が得られたか。	A		A		
管理運営業務の遂行に当たり、業者発注や業務委託により行われる場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。	A		A		
[ 所 見 ]	常に事務費、事業費の経費節減に取り組んでいますが、水道光熱費において、平成24年度洗面の自動水栓化平成25年度男子トイレの自動水洗化の結果として、平成26年度は電気代、ガス代高騰にも関わらず、水道代が節約でき、平成25年度水準の支出で賄えました。衛生管理に取り組みながら、効率的に経費節減できています。		引き続き、経費節減に向けたさまざまな取組みが行われている。		特になし
[改善項目]			施設の経年化に伴い、修繕箇所が増加が見込まれることから、日常の管理運営の中で修繕の必要な箇所を的確に把握し、計画的な修繕が行えるよう努められたい。		
(2-2) 収入の増加 利用料金制を採用している場合のみ評価	B		B		(2-2) 収入の増加 利用料金制を採用している場合のみ評価
収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	B		B		
[ 所 見 ]	平成26年度は、障がい福祉サービス等事業収入は、前年より2,323,086円減となりました。これは、年間総利用者数の減少によるものです。		利用者の高齢化や障がいの重度化により、毎日通所することが難しい利用者が増えていることに加え、一般就労等による退所者もあり、前年度より延べ利用者数が減少している。		
[改善項目]	定員35人に対し契約者36人(平成27年3月31日現在)で契約数は定員を上回った形ですが、週3日利用や体力的に問題があり、利用日数が増やせない利用者もおられるため、出席率は73.6%(平成26年度実績)にとどまっている状況です。 現在の利用状況を考えて、契約者数を3～4人増やす必要があると考えています。		市内では、就労継続支援B型を実施する事業所が少なく、新規利用が困難な状況にあることから、高齢化や障がいの重度化により毎日通所することが難しい利用者について、利用する曜日を固定する方法により出席率の平準化を図り、新規利用者の受け入れが可能となるよう努められたい。		
(2-3) 収支のバランスなど 利用料金制を採用している場合のみ評価	A		A		(2-3) 収支のバランスなど 利用料金制を採用している場合のみ評価
収支のバランスが適切であったか。	A		A		
経費の効果的、効率的な執行が行われたか。	A		A		
収支の内容に不適切な点はなかったか。	A		A		
[ 所 見 ]	平成26年度は、社会福祉法人の新会計基準での決算となりました。予算では障がい福祉サービス等事業収入において、利用率75%で計算しておりましたが、結果は76.4%でした。支出総額を63,819千円で見込んでいましたが、約5,711千円少ない、58,108千円に抑えることができました。収支のバランスが適切にとれ経費節減がうまくいき、受託金収入(指定管理料)も予算額10,851千円の予定が、約5,341千円少ない、5,510千円に抑えることができました。		概ね安定的に運営されている。		特になし
[改善項目]	利用者の障がいの重度化、多様化と高齢化に十分な対応できるように、正規職員、臨時職員の配置バランスの再検討が必要になっています。				

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	健康福祉部 障害福祉課
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価【外部評価者記入欄】
評価項目及び評価のポイント	評価レベル・評価のポイント		評価レベル・評価のポイント		評価レベル・評価のポイント
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A		A		3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】
(3-1) 管理運営の実施状況	B		A		(3-1) 管理運営の実施状況
施設の管理運営には、適切な人員配置がされたか。	B		A		/
業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	B		B		
施設の維持管理が適切に行われたか。	A		A		
指定管理者の提案による新たな取り組みは実施されたか。	B		B		
[ 所 見 ]	サービス管理責任者が、直接サービス職員の業務に協力する必要のある場面が多くあります。		限られた人員で適正に運営されている。		
[ 改善項目 ]	施設利用者の重度化、高齢化、多様化に伴って、利用者への支援のあり方も専門性が問われてきており、職員の資質向上に向けて、施設内外研修の参加を増やしていきたい。 また、施設の老朽化が進んだりと諸問題はあるが、順次改善に取り組んでいきたい。		利用者の高齢化や障がいの重度化等に伴い、さらなる支援技術の向上が求められることから、研修の充実等を通じ、職員の資質向上に努められたい。		
(3-2) 個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A		(3-2) 個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など
施設の設置目的に応じた効果的な利用者への情報提供・広報活動が十分になされたか。	B		B		/
施設利用者の個人情報の取扱いが適切に行われたか。	A		A		
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	B		A		
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。	A		A		
事故発生時や非常災害時の対応が適切であったか。	A		A		
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮されたか。	—		—		
利用者が限定される施設では、利用者の選定が公平で適切になされたか。	A		A		
[ 所 見 ]	年4回の消火・通報・避難訓練を実施しています。利用者に、必要な情報はその都度文書及び口頭で説明しています。作業上の安全対策は、施設運営の基本要素であり、作業毎に対策をとっています。空調設備のうち、室内機、配管の改修がされておらず、水漏れ等の問題が生じる時があり、平成26年度末に一ヶ所室内機取替および配管改修を川西市にさせていただきました。		必要な安全対策や訓練等を実施するなど、概ね適正に運営されている。		虐待が社会問題になっている。暴力だけではなく、かつては虐待ととらえられなかった言葉がけのようなものも虐待とされるようになっており、支援する側の体制や意識も変えていく必要があることから、研修等を通じて適切に対応されたい。
[ 改善項目 ]			ホームページの充実等により、利用者や家族等への情報提供を充実させるとともに、市民への広報活動を通じ、施設や障がい者に対する理解が深まるよう努められたい。		
総合評価	総合評価		総合評価		総合評価
評価ランク	A		A		
[ 所 見 ]	施設利用者の重度化、多様化、高齢化により、職員が個別に対応しなければならない事例が増加しています。より安全な施設の体制がとれるような職員配置を再検討していく必要があります。また、施設の建物・設備は30年を経ており、順次、川西市と協議しながら、老朽化改善対策を行ってまいります。		概ね適正に運営されている。引き続き、一人ひとりに寄り添ったきめ細かな支援を行うとともに、適切な施設管理や効率的な事業運営に努められたい。		特になし
[ 改善項目 ]					

【記入上の留意点】

- (1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。
- (2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。